

水管理を徹底して有効茎数の確保に努めましょう。 ＜雑草が多く残っている水田は早めの除草剤追加防除を!!＞

今年の生育状況については、平年より田植は遅く沿岸部では6月上旬まで行いました。
また、5月の天候は概ね良好でしたが、5月下旬の強風で用水が確保できなかった水田や田植直後の水田では葉先がもまれて枯れるなど活着への影響が見受けられました。
尚、これから分けつ期にはいりますので圃場を巡回して水管理の徹底に努めてください。

◎東北地方1か月予報 (仙台管区気象台 6月9日発表)

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確立 (%)＞

【 気 温 】東北地方	20	40	40	凡例： ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)
【 降 水 量 】東北地方	30	40	30	
【 日照時間 】東北地方	30	40	30	

◎水田雑草の補助防除を早めに行いましょう。(中・後期除草剤)

本年は気温も高く雑草の発生も早く、特に田面が常に露出していた水田などは、ホタルイ、オモダカ、シズイ等が残っております。
稲の生育にも影響を及ぼしたり、斑点米カメムシの被害の要因となりますので、早めに散布するようにして下さい。

薬 剤 名	10a当り使用量	主 な 対 象 雑 草
フォローアップ1キロ粒剤	1kg	移植後20日～ノビエ5葉期。(落水不要) (オモダカ・クログワイ等 早めに散布)
バサグラン粒剤 (落水して散布)	3～4kg	ホタルイ・シズイ・オモダカ等(草丈は10～15cm以下)。落水散布後は少なくとも3日間は入水をしないうでそのままの状態に保つこと。 (ノビエには効果ありません。)
クリンチャーバスME液剤 (落水して散布)	1,000Mℓ (水70-100)	移植後15日～ノビエ5葉期。広葉雑草5～15cm以下。落水した状態で雑草に噴霧器等で直接散布し3日以上は入水しないこと。

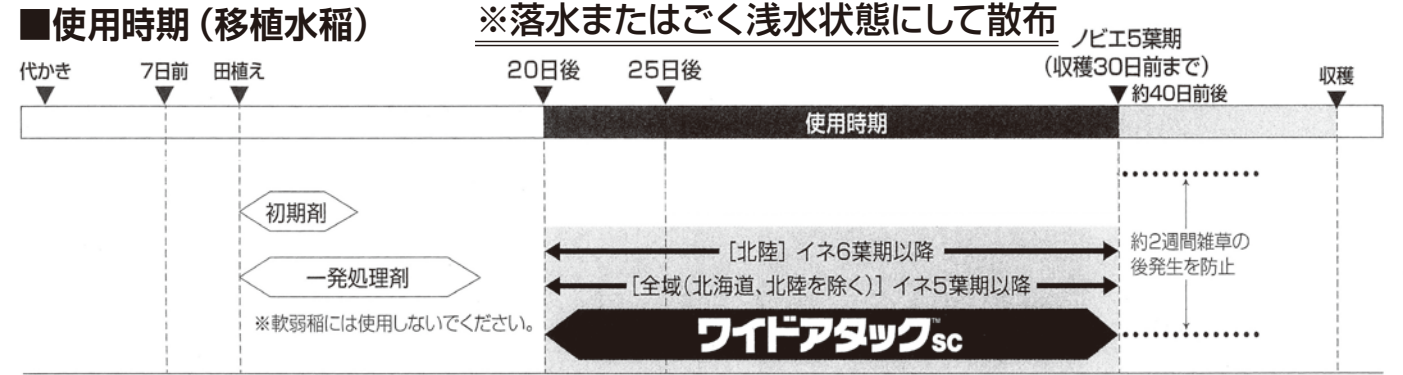
散布時期が遅れたり、雨天が続くことにより、除草効果も劣りますので、適期散布に努めましょう。

水田周辺 (畔畔や農道等) への除草剤散布は飛散に要注意を!!

水田周辺へ除草剤を散布する際は、薬剤の飛散(ドリフト)を避ける為、風のある日は散布を行わないようにして下さい。
また、散布ノズルは全て「飛散防止対応ノズル」で散布を行いましょ。

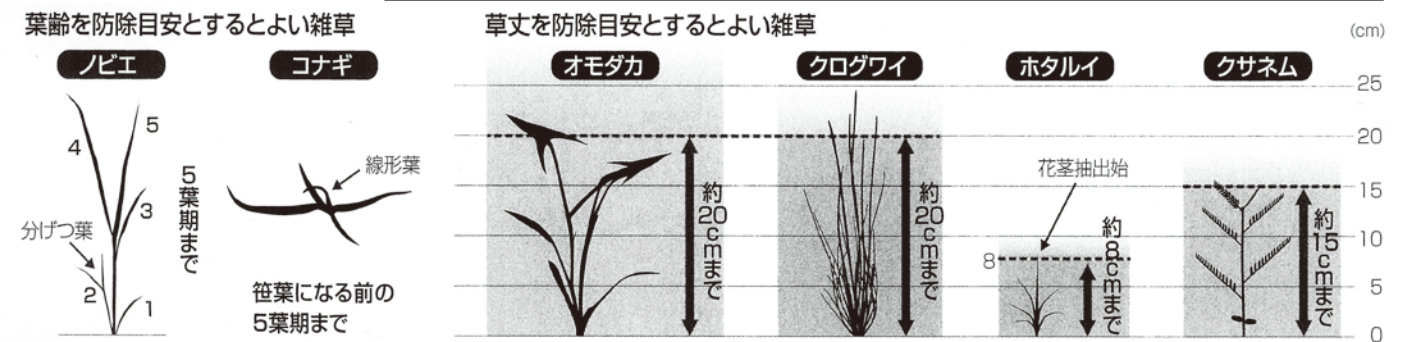


◎環境保全米栽培は「ワイドアタックSC液剤」を使用して下さい。 (噴霧器等による散布)



- 多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布してください。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように適期に散布してください。

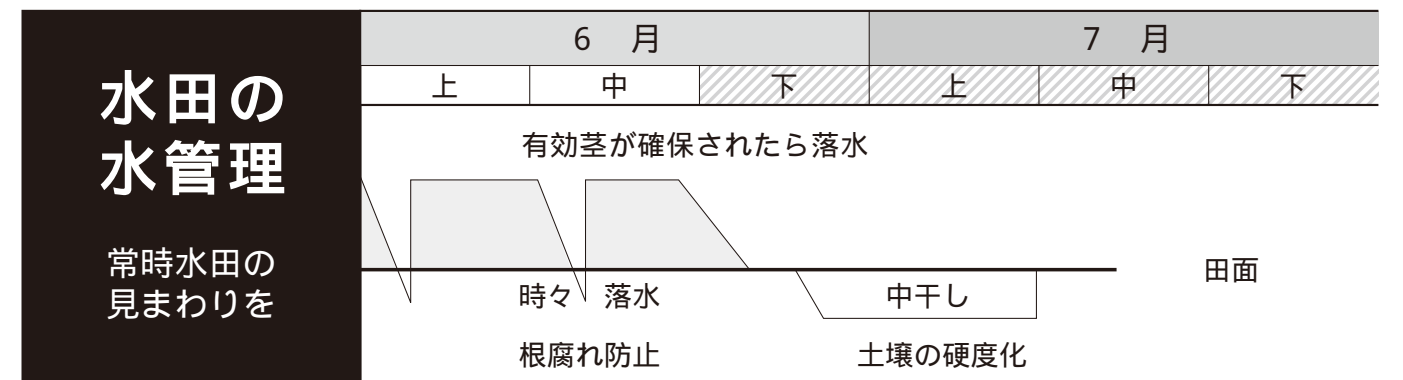
◎主な雑草の防除目安 ※雑草の茎葉が水面上に十分出ている状態で雑草全体散布する。



- クログワイ、オモダカ、シズイ、コウキヤガラ防除は、それぞれの雑草に有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- ※散布後は3日間落水状態を維持。散布後7日間は落水・かけ流しをしないこと。

◎有効茎の確保まで水管理の徹底を!!

天気が良好な場合・・・2～3cm程度
低温や曇天の場合・・・深水5～6cm程度



水稲育苗ハウスの後作に野菜等を栽培する場合は注意して下さい!!

⚠ 水稲箱処理剤の有効成分は長期残効性があります。
水稲育苗ハウス内で箱処理剤を散布した時に、育苗箱から薬剤が地面にこぼれた場合、後作の野菜等へ影響(残留)する恐れがあります。
地面にビニール等を敷いていると思いますが、箱処理剤が残っている場合は地面にこぼさないように注意することで後作への影響を防止することになります。



地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		
		有機一発209(80日タイプ)			40 kg		
							5 18
		30	15	25	25		
		みのり有機一発(100日タイプ)			50 kg		
							5 24
		無肥料区			0 kg		
							5 7
		みやぎ米有機一発499			40 kg		
							5 7

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		
増田(下余田)	ひとめぼれ	仮称)低コストひとめぼれ252			30 kg		田植日
鹿島(西部分区)	1015	成分	窒素(全体)12%	内化学窒素	リン酸15%	カリ12%	5月 8日
面積	100 a	kg	3.6kg	(3.6kg)	4.5kg	3.6kg	側条施肥

※ひとめぼれ専用肥料2号と窒素成分が同じで、リン酸・カリの成分を低く抑えた「低コスト型」肥料の試験栽培

参考 ひとめぼれ専用肥料2号 窒素12% - リン酸22% - カリ20%

「JA米」東北194号 慣行栽培試験 (大崎市では「ささ結」として商標販売)

地区(地名)・品種・面積		肥料名			施用量(kg/10a)		その他
玉浦(早股下)	東北194号	楽だね508			30 kg		田植日
新小林	1018	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 19日
面積	106 a	kg	4.5kg	(4.5kg)	6.0kg	5.4kg	側条施肥
玉浦(寺島)	東北194号	楽だね508			30 kg		田植日
五福田	1087	成分	窒素(全体)	内化学窒素	リン酸	カリ	5月 12日
面積	100 a	kg	4.5kg	(4.5kg)	6.0kg	5.4kg	側条施肥

※基肥は、倒伏や籾数過多による品質低下を避ける為、「ササニシキ」同等の施肥体系で栽培試験

< 東北194号 (母:ササニシキ、父:ひとめぼれ)の特徴 >

- ・ササニシキより「耐冷性」や「耐倒伏性」は優れる。(食味はササニシキのあっさり感を継承している。)
- ・宮城県での早晩性は「中生の晩」であり、出穂期は「ササニシキ」と同程度で成熟期が1日程度早い。
- ・ササニシキと比較した場合、稈長は「やや短く」、穂長が「やや長く」、穂数が「やや多い」特徴
- ◎耐冷性は「極強」、高温登熟耐性は「中」、穂発芽性は「難」であり、いずれもササニシキに優る。
- ◎耐病性は、葉いもち病が「やや弱」、穂いもち病に「弱」であり、「ひとめぼれ」と比較した場合「やや弱い」
- ※尚、「特別栽培米」などの栽培要件がありません。(検査・販売は、「東北194号」となります。)
- また、平成29年産の作付希望についても県内で種子の確保が困難な状況です。(別途ご相談下さい。)